

# 令和3年度 主要・新規事業

“ひと”づくり・“いえ”づくり・“まち”づくり

市民といっしょに<sup>あす</sup>未来の蒲郡を創ります



## 蒲郡市

蒲郡市では、SDGsの目標達成に向けた、予算編成を行いました。また、主要・新規事業の項目にSDGsで掲げる17の目標について、施策ごとに、関連する主要な目標を掲載します。

## ※SDGs (Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に統合的に取り組むための国際社会全体の開発目標。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 事業内容一覧

## 1 新型コロナウイルス感染症対策

- ・キャッシュレス決済の導入促進を図ります



1

## 2 子どもファースト

- ・GIGAスクール構想の実現に向けICT環境を整備します



2

- ・子育て支援を拡充します



3

- ・北部保育園の低年齢児保育を拡充します



4

## 3 スポーツ・文化

- ・武道館の大規模改造に着手します



5

- ・地域と学校が相互に連携・協働する地域学校協働活動を推進します



6

## 4 居場所づくりによる生きがいづくり

- ・高齢者の憩いの場「寿楽荘」で介護予防教室をはじめます



7

- ・若者が参画できるまちづくりを目指します



8

## 5 市民の“いのち”を守る

- ・40歳限定！セットでがん検診が受診できます



9

- ・市民病院でAI問診事業・オンライン資格確認事業を行います



10

- ・消防署西部出張所の移転建設を進めます



11

- ・自転車乗車用ヘルメットの購入費用を補助します



12

## 6 定住促進

- ・ふるさとワーキングホリデーを実施します



1 3

## 7 シティセールス

- ・官民一体で市の魅力を発信します



1 4

## 8 まちの魅力発信

- ・東港地区の居心地の良い空間づくりに向けた取り組みを支援します



1 5

## 9 都市基盤の整備

- ・狭あい道路の解消を促進します



1 6

- ・都市計画マスタープランを策定します



1 7

- ・双太山公園に植樹を行い、親しまれる公園づくりを進めます



1 8

## 10 カーボンニュートラル

- ・2050年「ゼロカーボンシティ」を宣言します



1 9

## 11 効率的な行財政運営

- ・マイナンバーカードによる住民票等のコンビニ交付を開始します



2 0

- ・スマート市役所改革により市民サービス向上を図ります



2 1

## 12 モーターボート競走事業

- ・SGボートレースメモリアルを開催します



2 2

- ・外向販売所指定席（南ウイング）をリニューアルします



2 3

- ・ボートパーク基本計画を策定します



2 4

# キャッシュレス決済の 導入促進を図ります



キャッシュレス決済端末導入補助、決済手数料補助、ポイント還元キャンペーンを実施し事業者及び消費者の利用開始に向けサポートもします。

事業費：57,960 千円（財源内訳：繰入金 57,960 千円）



## 決済端末導入補助

新たなキャッシュレス手段を導入した事業者に対し、それに要した機器等の購入費の3分の2（上限5万円）を補助します。



## 決済手数料補助

事業者がキャッシュレス決済に要した手数料の一部を補助します。



## ポイント還元キャンペーン

キャッシュレス決済事業者を活用した還元率20%のポイント還元キャンペーンを実施します。

## 各種セミナー・サポートの実施

### 事業者向け

各社のキャッシュレスセミナーや加入サポートを実施します。

### 消費者向け

キャッシュレスの利用開始をするためのサポートセミナーを実施します。

## 事業の実施予定

実施予定：決済端末導入補助

令和3年2月から令和4年3月まで

決済手数料補助

令和3年4月から令和4年3月まで

ポイント還元キャンペーン

令和3年5月・6月

各種セミナー等

令和3年3月から3回程度

補助対象者：市内中小事業者（各種セミナーについては、市内中小事業者及び蒲郡市在住者）

## 問い合わせ先

産業環境部観光商工課 商工労政担当

電話：0533-66-1119 メール：shoko@city.gamagori.lg.jp

子どもファースト

# G I G Aスクール構想の実現に 向け I C T環境を整備します



小中学校の授業において、効果的な I C Tの活用を支援します。

ICT 支援員派遣委託料：26,010 千円（財源内訳：一般財源 26,010 千円）

【令和2年度3月補正】大型提示装置設置委託料：220,000 千円（財源内訳：国庫補助金 220,000 千円）

G I G Aスクールサポーター：4,258 千円（財源内訳：国庫補助金 2,129 千円 一般財源 2,129 千円）

(ICT 機器保守支援委託料)



ICT 支援員

## 授業支援

・個別学習や協働学習に I C Tを利用して学習する際の操作補助を行います。



大型提示装置

## 環境整備

・文部科学省が策定した「教育の I C T化に向けた環境整備5か年計画」に基づき小中学校の I C T化を進めます。



G I G Aスクールサポーター

## ICT 機器の保守

・日常の I C T機器のトラブルに対応します。

### ICT 支援員

市内小中学校20校の4校に1名ずつ、ICT 支援員を配置し、教員や児童生徒の I C T活用スキルに応じて支援します。

### 大型提示装置

全普通学級、各学校の特別教室に電子黒板機能付きプロジェクターを設置します。

### G I G Aスクールサポーター（ICT 機器保守支援委託料）

G I G Aスクール構想の実現に向けて、本市では児童生徒に対して1人1台のタブレット端末を導入しましたが、日常の I C T機器のトラブル、年次更新における児童生徒の I D管理、切り替え等の支援が必要であり、ICT 機器保守支援委託をします。

### 問い合わせ先

教育委員会庶務課 電話：0533-66-1166 メール：shomu@city.gamagori.lg.jp

教育委員会学校教育課 電話：0533-66-1165 メール：gakko@city.gamagori.lg.jp

子どもファースト

# 子育て支援を 拡充します



子どもを産み育てやすいまちづくりの推進のため、「多胎妊婦健康診査」「多胎妊産婦サポーター事業」「家事支援事業」を実施します。  
事業費：6,657 千円（財源内訳：国庫補助金 342 千円 一般財源 6,315 千円）



## 多胎妊婦健康診査

多胎妊婦の安心した出産に向け母子の健康管理と経済的負担軽減のため、妊婦健康診査の公費助成の回数を拡充します。

## 多胎妊産婦サポーター事業

多胎妊婦や多胎家庭へサポーターを派遣し、育児や家事支援を行うことで育児等の負担軽減と孤立感の解消を図ります。

## 家事支援事業

母親の子育て負担を軽減するため、家事支援を希望するご家庭にヘルパーを派遣します。

### <事業内容>

#### 1 多胎妊婦健康診査

対象：多胎妊婦

利用回数：通常の妊婦健康診査に5回分追加で妊婦健康診査に係る費用を助成します。母子健康手帳交付時に多胎妊婦健康診査受診票を5回分追加配布します。

#### 2 多胎妊産婦サポーター事業

対象：多胎妊婦及び多胎児出生から就学前まで

利用回数及び時間：週1日、1回2時間が上限（外出支援は、健診や予防接種終了まで）

#### 3 家事支援事業

対象：妊婦から3歳の誕生日を含む月まで（令和3年度は平成30年7月1日生まれ以降を対象とする）

事業開始：7月1日から（3か月は準備期間 研修等を実施）

委託先：シルバー人材センター及び市内ヘルパー事業所

利用料金：1時間500円

### 問い合わせ先

市民福祉部健康推進課 母子保健担当（子育て世代包括支援センター）

電話：0533-56-2305 メール：uminoko@city.gamagori.lg.jp

子どもファースト

# 北部保育園の低年齢児保育を 拡充します



北部保育園の隣地に乳児棟を建設して、低年齢児の受入枠を拡充します。

事業費：73,297 千円（財源内訳：一般財源 73,297 千円）

近年、低年齢児（0～2歳児）保育の需要が高まっており、本市においても低年齢児の保育受け入れ人数は増加しています。本市の中央部にある保育園においては受け入れ人数の拡大が必要な状況となっていますが、敷地内での施設拡張も困難な状況です。

急増する低年齢児（0～2歳児）保育の需要に対応するため、北部保育園の隣地に乳児棟を建設することにより受入枠を確保します。

併せて、現在不足している送り迎えの車に対応するため駐車場の整備を行います。



・受入開始日(予定)

**令和4年4月～**

・受入拡充数

**最大で18人の受入が可能**



問い合わせ先

市民福祉部子育て支援課 保育園担当

電話：0533-66-1107 メール：kosodate@city.gamagori.lg.jp

スポーツ・文化

## 武道館の

# 大規模改造に着手します



市民体育センター武道館の大規模改造工事に係る実施設計を行います。

事業費：15,000 千円（財源内訳：一般財源 15,000 千円）

市民体育センター武道館は、建築から約40年が経過し、耐震性能の不足、老朽化に加え、空調設備やバリアフリー対応など時代に即した機能の不足といった課題があります。これらの課題を解決するため、施設の大規模改造に着手します。



### 安全・安心な施設

施設の耐震性を確保の上、防災機能の強化を図ります。



### 競技環境の充実

競技用床面の改修、照明のLED化、空調設備の新設等、競技環境の充実を図ります。



### 利用環境の充実

トイレの改修やバリアフリー対応等、利用しやすい環境の充実を図ります。

スケジュール：令和3年度 実施設計、令和4年度 工事（予定）

その他：改修内容は実施設計時の調査及び詳細検討により変更の可能性があります。

#### 問い合わせ先

教育委員会スポーツ推進課 スポーツ推進担当

電話：0533-66-1222 メール：sports@city.gamagori.lg.jp

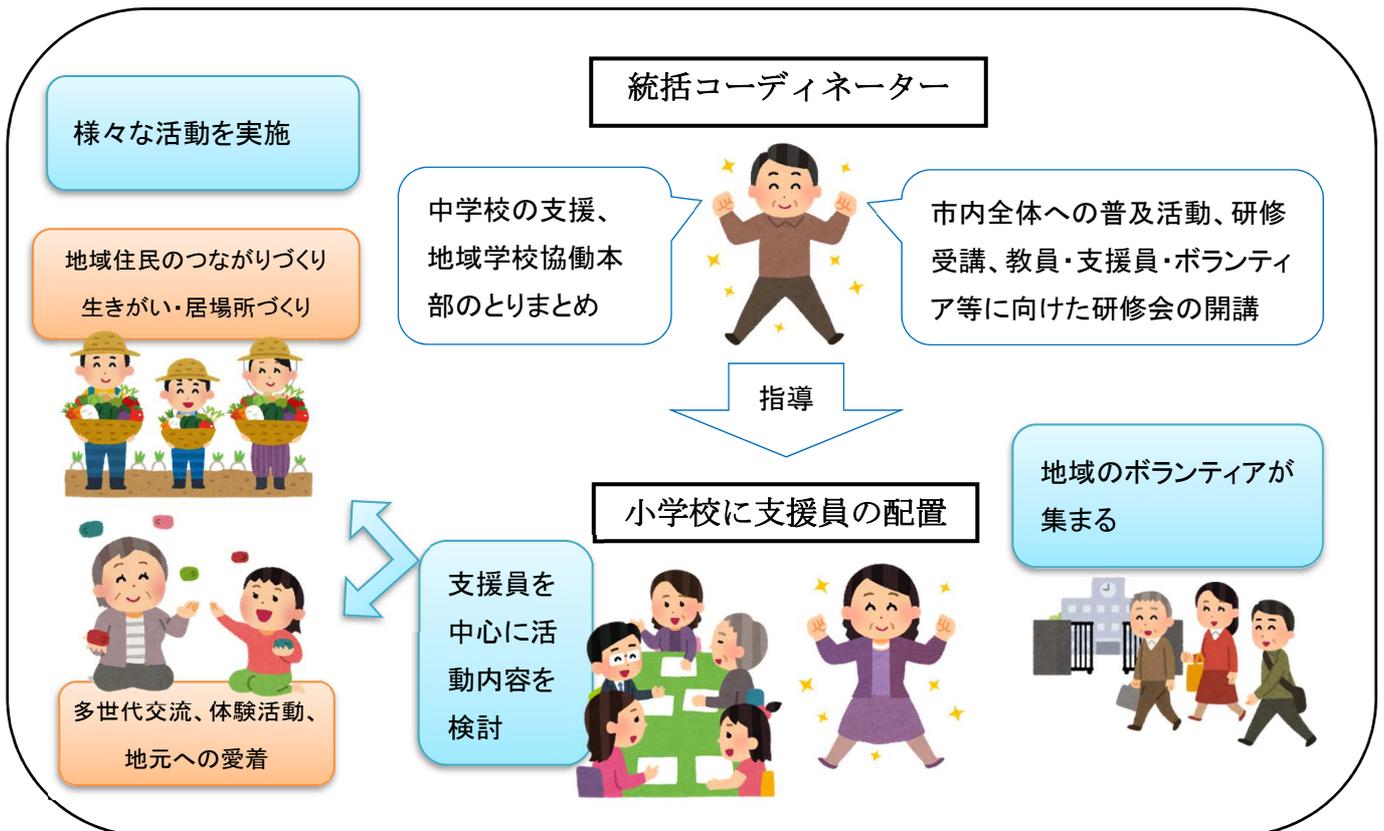
スポーツ・文化

# 地域と学校が相互に連携・協働する 地域学校協働活動を推進します



地域学校協働活動を推進する統括コーディネーターを増員しモデル地区とした蒲郡・西浦中学校区の小学校に地域学校協働活動支援員を配置します。

事業費：9,345 千円（財源内訳：一般財源 9,345 千円）



**事業内容：**地域住民が得意分野を生かして学校の授業で先生となったり、学校内の環境整備をするなど、学校と地域が連携・協働して様々な活動を行います。地域の市民・団体など幅広い地域住民の皆さんの参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えつつ、地域づくりへとつなげていきます。

**配置人数：**統括コーディネーター2名（生涯学習課・1名増）、地域学校協働活動推進員4名（各小学校に1名）

問い合わせ先

教育委員会生涯学習課 社会教育担当

電話：0533-66-1167 メール：gakushu@city.gamagori.lg.jp

居場所づくりによる生きがいづくり

# 高齢者の憩いの場「寿楽荘」で 介護予防教室をはじめます



寿楽荘で、高齢者の方々が元気で過ごしいただけるよう各種教室を開催します。

事業費：1,616 千円（財源内訳：諸収入 1,616 千円）

## 教室メニューの例

寿楽荘を訪れるのが楽しみになるような、様々なメニューの体験型教室を企画していきます。

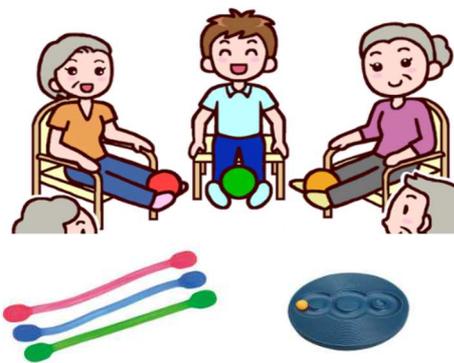
### 指先を使って頭の体操教室

指先を使いながら頭も使って、ものづくり等を行うことで、楽しく脳を刺激しましょう。



### 運動器具を使った体操教室

ボールやバランスボード・チューブ等の運動器具を使った体操をご紹介します。



開催予定月： 令和3年4月から

開催日時： 毎月第2金曜日 午後1時30分～午後3時30分 テーマ：「脳を刺激しよう」  
毎月第3火曜日 午後1時30分～午後3時 テーマ：「体を動かそう」

対象者： 市内在住の60歳以上の方

参加費： 無料（ただし、内容によって材料費等を実費負担していただくことがあります。）

申込方法等： 参加希望の場合は、事前申し込みが必要です。詳細は、広報・回覧等でお知らせします。

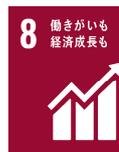
## 問い合わせ先

長寿課 地域包括ケア推進室

電話：0533-66-1105 メール：[choju@city.gamagori.lg.jp](mailto:choju@city.gamagori.lg.jp)

居場所づくりによる生きがいづくり

# 若者が参画できるまちづくりを 目指します



地元の大学生が、地域と関わり、地元愛の育成及び若者と地域が相互に理解することを目的とし、今後のまちづくりモデルとなるような仕組みを研究します。

事業費：2,000千円（財源内訳：繰入金2,000千円）



## ◇協働まちづくり若者支援事業の主な内容

概要：大学生が、地域社会に出て地元企業取材し、自分の目、肌、足で体感したことを反映した内容の企業紹介動画を製作し、発表する。学生が取材方法、動画の作成、地域との関わり方などを学ぶ一方で、地域も若者の考えや意見を吸収し、多世代交流を図る。

得られる効果：

大学生

- ① 地元企業やそこで働く人々とのコミュニケーション
- ② 取材を通して得られた理解や関係性を反映した映像製作
- ③ 未来の自分のイメージを広げるチャンス

企業

- ① 新たなビジネスチャンス
- ② 人材・設備等の確保
- ③ 企業価値の向上

行政

- ① 地域及び市民活動の活性化
- ② ニーズの把握
- ③ 雇用促進及び定住促進



問い合わせ先

企画部協働まちづくり課

電話：0533-66-1179 メール：kyodo@city.gamagori.lg.jp

市民の“いのち”を守る

# 40歳限定！

## セットでがん検診が受診できます



2人に一人がかかるがん。それほど身近な病気であるにも関わらず、自分のこととは捉えにくい病気でもあります。がん医療は日々進歩し、今では早期の発見と適切な治療により治るがんも多くなりました。

若い世代からがん検診を受診していただくため、市のがん検診を始めて受診できるようになる「40歳」の方限定に、複数のがん検診をセットで受診できる「40歳のセットがん検診（40<sup>よんまる</sup>検診）」を実施します。

事業費：5,212千円（財源内訳：一般財源5,212千円）



若い年齢の人の  
受診率が少ない  
んです



対象：市内在住の40歳の方（令和4年3月31日現在）

実施場所：蒲郡市保健医療センター2階 蒲郡市医師会健診センター

実施時期：年3回

内容：男性：肺がん検診・大腸がん検診・胃がんリスク検査・肝炎ウイルス検診

女性：肺がん検診・大腸がん検診・胃がんリスク検査・肝炎ウイルス検診・乳がん検診・  
子宮頸がん検診・HPV検査

受診人数：各100人（予約制）

自己負担金：男性1,500円・女性3,000円（市民税非課税世帯及び生活保護対象者は無料）

問い合わせ先

市民福祉部健康推進課 検診予防担当

電話：0533-67-1151 メール：hoken@city.gamagori.lg.jp

市民の“いのち”を守る

# 市民病院でAI問診事業・ オンライン資格確認事業を行います



救急外来等にAI問診を導入。専用タブレットで患者さんが回答した問診内容に応じて質問が随時変化。隠れた疾病の早期発見と、より質の高い医療の提供につなげます。

国が進めるマイナンバーカードを活用した健康保険証の「オンライン資格確認」を導入。保険情報や特定健診の結果、薬剤情報など個人の医療情報を病院の電子カルテで確認し、活用できます。災害時の診療にも役立つことが期待されています。

事業費：16,178千円（財源内訳：一般財源 16,178千円）



患者さん向け 事前問診



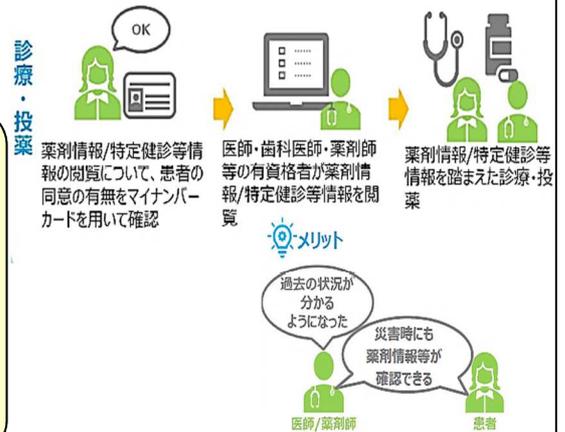
## AI問診事業

- ① 患者さんが症状などをタブレットで入力。高齢の方でも簡単な入力操作が可能
- ② 問診の回答に応じてAIが疑わしい疾患を想定。回答事項も患者さんごとに最適化された医療記事として自動構成。
- ③ AIの検出した疾病を想定し、医師は診察。対面診察で重要な診療行為に注力でき、より質の高い医療の提供に繋がります。

## マイナンバーカードを活用した健康保険証の オンライン資格確認事業

オンライン資格確認は今後、「データヘルスの基盤」となっていく予定です。

- ① 全国の医療機関・薬局と安全かつ常時接続。患者さんの同意に基づき健診結果や服薬情報を共有化。
- ② 医療情報を患者さん個人ごとに確実に取得し、診療や予防に繋がります。
- ③ 保険情報の確実な確認や限度額情報等も確認でき患者さん、病院の双方で事務手続きの負担が軽減できます。



AI問診 (3,000千円) 導入予定日：令和3年7月～  
 オンライン資格確認 (13,178千円) 導入予定日：令和3年9月～

問い合わせ先

蒲郡市民病院 医事課

電話：0533-66-2200 メール：hospiji@city.gamagori.lg.jp

市民の“いのち”を守る

## 消防署西部出張所の

# 移転建設を進めます



西部地区の消防・救急活動拠点となる消防署西部出張所の移転、建替えを進めます。

事業費：94,194 千円（財源内訳：市債 70,100 千円 一般財源 24,094 千円）

現在の西部出張所は、築 54 年を経過しており庁舎の老朽化は著しく、庁舎内も手狭で敷地は狭小なため職員の待機、訓練スペースも限られています。消防力の向上と災害時の拠点となる消防庁舎の機能維持のため早期の移転、建替えを進めます。

### 移転候補地選定理由

津波浸水想定区域に入っていないこと、中央分離帯のない幹線道路に面していること、消防活動上必要な敷地面積を確保できること、現在の西部出張所から遠く離れないことを要件としました。



現在の西部出張所



移転候補地位置図

実施期間：令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月（予定）

移転候補地：西浦町堂前地内、市道西浦堂前浜田 1 号線沿い（4,147 m<sup>2</sup>）

事業内容：令和 6 年度の新庁舎運用を目指し、建設用地取得と工事関連の実施設計を進めます。

事業内訳：事業費 94,194 千円（不動産鑑定手数料、物件補償費、用地購入費、造成工事実施設計委託料、建設工事実施設計委託料）

問い合わせ先

消防本部総務課 庶務係

電話：0533-68-0935 メール：ssomu@city.gamagori.lg.jp

市民の“いのち”を守る

## 自転車乗車用ヘルメットの

## 購入費用を補助します

11 住み続けられる  
まちづくりを



市内在住の児童・生徒・高齢者を対象に自転車乗車用ヘルメットの購入費用の補助を行います。

事業費：2,100 千円 財源内訳：(県補助金 1,050 千円 一般財源 1,050 千円)



自転車による交通事故被害軽減のため、ヘルメットの購入費用の一部を補助する事業を開始します。

区 分	補助制度
補助対象ヘルメット	SG マーク 一般財団法人製品安全協会の安全認証 JCF マーク 公益財団法人日本自転車競技会連盟の安全認証 CE マーク EU 加盟国の安全認証 GS マーク ドイツの安全認証 CPSC マーク 米国消費者製品安全委員会の安全認証 上記等の安全性の認証を受けた自転車乗車用ヘルメット
補 助 額	補助対象ヘルメット購入費用の1/2(上限2,000円) 補助対象者1人につき1個まで 購入費用には消費税及び地方消費税を含む
補助対象者	市内在住で7歳以上～18歳以下の方、または65歳以上の方 (年齢は令和3年度中における満年齢とする)

### 補助内容と申請方法について

補助対象期間：令和3年4月1日～令和4年2月28日の期間内に購入かつ申請が必要

補 助 内 容：自転車乗車用ヘルメット購入費用の1/2(上限2,000円) 補助対象者1人につき1個まで  
購入費用には消費税及び地方消費税を含む

補 助 対 象 者：市内在住で7歳以上～18歳以下の方、または65歳以上の方  
(年齢は令和3年度中における満年齢とする)

※申請方法、必要書類等の詳細な内容等については、周知チラシ及びホームページ等でお知らせします

### 問い合わせ先

総務部交通防犯課 交通防犯担当

電話：0533-66-1156 メール：kotsu@city.gamagori.lg.jp

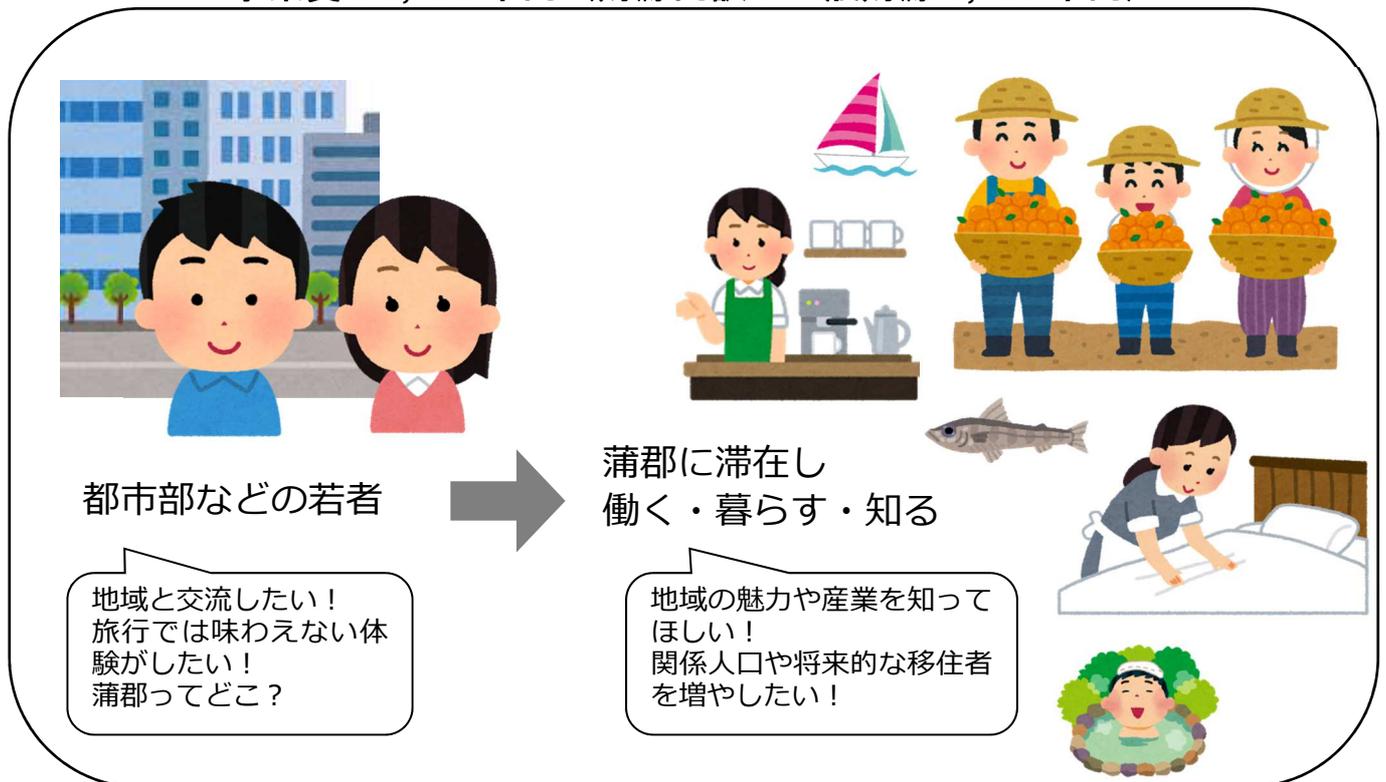
定住促進

# ふるさとワーキングホリデーを 実施します



関係人口や将来的な移住者の増加につなげるため、首都圏等の若者に、市内で働きながら2週間程度滞在していただき、蒲郡の暮らしを体感していただく「ふるさとワーキングホリデー」を愛知県内で初めて実施します。

事業費：3,250 千円（財源内訳：一般財源 3,250 千円）



参加者：市外在住の若者等 10名程度

参加者募集方法：総務省「ふるさとワーキングホリデー」ポータルサイトを通じて募集

実施概要：就労受け入れ先として、市内の事業者にご協力いただきます。実際に雇用契約を結び、賃金を支払う就労受け入れ先も募集します。参加者は、市内のホテルや就労受け入れ先の寮などに宿泊し、就労受け入れ先で働きながら蒲郡の暮らしを体験します。

備考：ふるさとワーキングホリデーは、H28より総務省が進めている事業です。

問い合わせ先

企画部企画政策課 企画調整担当

電話：0533-66-1162 メール：kikaku@city.gamagori.lg.jp

シティセールス

# 官民一体で市の

# 魅力を発信します



シティセールス基本方針に基づく事業、ロケを通じたまちづくり事業、全国ご当地うどんサミットを実施します。

事業費：16,597 千円（財源内訳：一般財源 16,597 千円）



## シティセールス基本方針 に基づく事業の実施

官民一体で作上げたシティセールス基本方針に基づき、人・モノ・景色など様々な視点からの蒲郡の魅力について、知る、作る、広める活動を官民一体で展開します。



## ロケを通じたまちづくり 事業

シティセールスの推進にあたって効果の高い映画等のロケ誘致に取り組むとともに、ロケ後の誘客につながる施策など、ロケを通じたまちづくり事業を展開する。



## 全国ご当地うどんサミット の開催

全国大会3冠に輝いたガマゴリうどんのさらなる周知及び関係人口の創出等を目的とした市外からの誘客のため、全国ご当地うどんサミットを開催する。

### ・ロケを通じたまちづくり事業

映画ゾッキ、映画空白、ドラマ最高のオバハンなど、蒲郡市においてロケの行われた作品のPRを行い、ロケ地マップ等を活用して市内への誘客を図るとともに、市の魅力をふんだんに盛り込んだロケ誘致のためのWEBサイトを構築し、新たなロケ誘致に官民一体となって取り組む。

### ・全国ご当地うどんサミットの開催

第10回目となる全国ご当地うどんサミットを秋ごろに開催します。

### 問い合わせ先

産業環境部観光商工課 シティセールス推進室

電話：0533-66-1225 メール：citysales@city.gamagori.lg.jp

まちの魅力発信

# 東港地区の居心地の良い空間づくり に向けた取り組みを支援します

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう

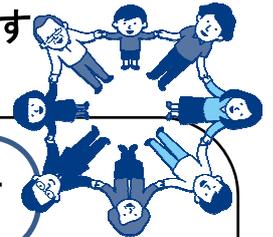


11 住み続けられる  
まちづくりを



蒲郡駅から竹島までのエリアとなる東港地区で、賑わい創出を図る社会実験等の支援事業を実施し、公共空間を活用した賑わい創出など、市民と民間事業者が協力して取り組むまちづくりのスタートアップを支援します

事業費：4,108 千円（財源内訳：一般財源 4,108 千円）



## まちの賑わいづくりを目指した取り組みを支援します

賑わいづくりに向けて  
専門家などが  
まちづくりのお手伝いをします。



まちなか・みなと・竹島周辺にある公共空間  
を活用した賑わいづくりの社会実験などを  
支援します。



今後策定予定の東港地区まちづくりビジョンに基づき、市民の共有財産である公共空間を市民の皆様が使いこなし、日常的なまちの賑わいや居心地の良い空間をつくっていくことを推進していきます。

その最初の取り組みとして、公共空間を活用した賑わいづくりを目指す市民や事業者の皆様が協力して行う活動に対し、まちづくりの経験者や専門家などが、「体制づくりや進め方」、「この地区にふさわしい賑わいの姿を模索する社会実験」などへの指導や活動支援を行う事業を実施します。

問い合わせ先

建設部 東港地区開発推進室

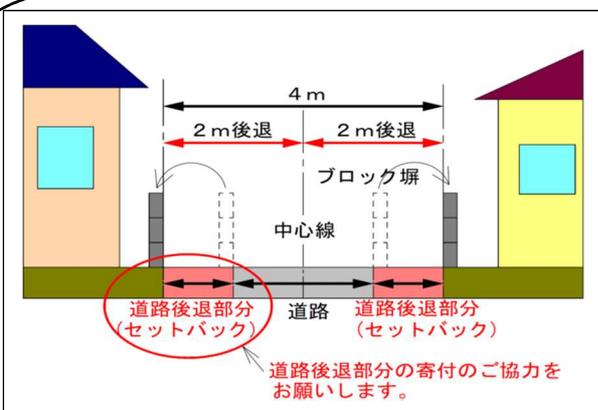
電話：0533-66-1281 メール：higashikou@city.gamagori.lg.jp

# 狭あい道路の解消を 促進します



市街化区域内の狭あい道路の後退用地等を市に寄附していただける場合は、市が土地測量、登記及び舗装等の整備を行います。

事業費：6,332 千円(財源内訳：国庫補助金 3,038 千円 一般財源 3,294 千円)



私たちの身近にある道路は、人や車の通行に利用する以外にも、風通しなどの快適な生活環境を守り、災害時には避難路、災害活動の空間として重要な役割をもっています。しかし、現在私たちが利用している道路には狭あい道路が数多くあり、日常生活の利便や災害時の安全などに問題をかかえています。そこで、狭あい道路の問題を解決するには、道路の幅を広げる必要があります。地域住民のみなさまのご理解とご協力をいただき、安全で住みよい環境と災害に強いまちづくりを進めてまいります。

狭あい道路：道路幅 1.8m以上 4m未満の建築基準法 42 条 2 項に該当する道路です。通常、道路の中心から 2mひかえて建物や塀などをつくらなければなりません。

- 実施開始予定日：令和 3 年 6 月（予定）
- 建築確認申請時には道路後退用地を「自己管理」するか「寄附」していただけるか申出をお願いします。自己管理される場合は後退部分が分かるように杭などの設置をお願いします。
- 寄附していただける場合は、市が測量、分筆、登記及び舗装等の整備を行います。対象は以下のとおりです。
  - ・対象区域 市街化区域
  - ・対象者 自己の居住用または業務用の土地所有者

## 問い合わせ先

事前申出 … 建築住宅課 電話：0533-66-1133 メール：kenchiku@city.gamagori.lg.jp  
寄附・測量 … 土木港湾課 電話：0533-66-1153 メール：doboku@city.gamagori.lg.jp

都市基盤の整備

# 都市計画マスタープランを 策定します

11 住み続けられる  
まちづくりを

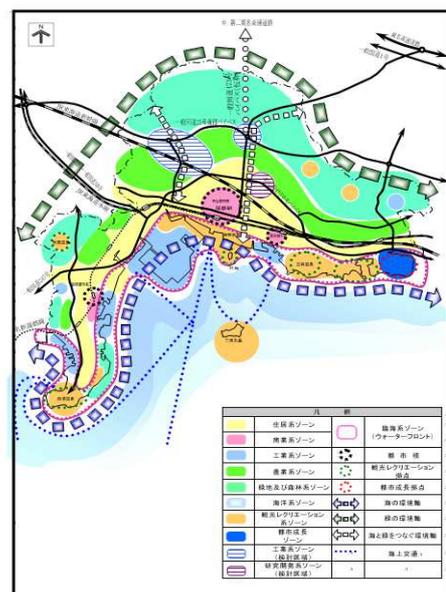


まちづくりの指針となる「蒲郡市都市計画マスタープラン」を策定します。

事業費：12,135 千円 （財源内訳：一般財源 12,135 千円）



蒲 郡 市 航 空 写 真



【現行マスタープラン】  
都 市 構 造 図

策定期間：令和3年度～令和4年度（2ヶ年）

## 都市計画マスタープランとは？

まちづくりの方針を定める都市計画に関する最も基本的な計画です。将来の「まち」の姿を想像しながら、土地の使い方や都市施設などの配置を定めます。

計画目標年次：令和5年度～令和15年度の10年間を予定しています。

問い合わせ先

都市開発部都市計画課 計画開発担当

電話：0533-66-1142 メール：keikaku@city.gamagori.lg.jp

都市基盤の整備

# 双太山公園に植樹を行い 親しまれる公園づくりを進めます



双太山公園で緑化事業を実施し、市民の皆さんから親しまれる公園づくりを進めます。

事業費：3,300 千円（財源内訳：県補助金 3,000 千円 一般財源 300 千円）

【現況写真】



【過去実施例】



地域の皆様と協働して植樹を行うことで、身近な公園として愛着を持っていただき、市民の憩いの場として利用の促進を図ります。また、地域の皆様には、花の成長に関心を持っていただく機会になるとともに、公園自体の魅力向上にもつながります。

実施予定日：令和3年10月を予定

実施場所：双太山公園（蒲郡市形原町）

問い合わせ先

都市開発部都市計画課 施設担当

電話：0533-66-1141 メール：keikaku@city.gamagori.lg.jp

カーボンニュートラル

# 2050年「ゼロカーボンシティ」

## を宣言します



2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにするまち「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市民の皆さんと一体となって取り組むことを宣言します。

事業費：83,390千円（財源内訳：市債31,400 一般財源51,990千円）

債務負担行為限度額：270,000千円（公共施設LED照明賃借料）

（一般会計251,300千円 下水道事業17,700千円 病院事業1,000千円）

本市の地球温暖化対策に向けては、「蒲郡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に沿って、市民・事業者・市が協力・連携して、温室効果ガスの削減および新エネルギーの導入促進を目指しています。

新たに、国では、2050年までにカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）の実現を目指していますが、本市においても、カーボンニュートラルの実現を推進してまいります。

### ● 市民や事業者の模範となるように率先して地球温暖化対策に取り組めます

#### ◇ 省エネルギーの促進(LED化の推進)

LED化工事を進めます

一括リース方式により公共施設の約6割のLED化を完了させます

○LED照明設置工事費 57,190千円

市庁舎（北棟及び議場）／給食センター

○LED照明賃借料 270,000千円（限度額）

公共施設 142施設（予定）

債務負担行為（リース期間：R4～R14年度）

#### ◇ 再生可能エネルギーの導入促進

公共施設の新築に合わせ太陽光発電を導入します  
既存施設への太陽光発電導入を計画的に進めます

○公共施設太陽光発電設備等工事費 各6,000千円  
公共施設1施設／北部保育園乳児棟（新築）

#### ◇ 次世代自動車の普及促進

公用車への電気自動車等導入を計画的に進めます

○電気自動車購入費 12,700千円

公用車3台（予定）

### ● 市民や事業者の地球温暖化対策の取り組みを支援します

#### ◇ 脱炭素型の交通手段への転換 エコ・モビリティ・ライフの普及を目指します

○電動アシスト自転車購入費補助金（拡充）1,500千円 補助台数を50台から100台に倍増します

補助金額 上限15,000円/台／募集 4月1日～（前期50台）10月1日～（後期50台）

補助対象 移動手段に電動アシスト自転車を積極的に活用いただける方 等

カーボンニュートラル推進事業費：これまでの地球温暖化対策事業費（住宅用地球温暖化対策設備導入費補助金等の支援事業）に加え、市が率先して再生可能エネルギーや次世代自動車の導入を進め、2050年までにカーボンニュートラルの着実な実現を推進します。（新規）公共施設太陽光発電設備等工事費 等

問い合わせ先

産業環境部環境清掃課

電話：0533-57-4100 メール：kankyo@city.gamagori.lg.jp

効率的な行財政運営

## マイナンバーカードによる 住民票等のコンビニ交付を開始します



住民票、印鑑登録証明書などがコンビニから交付できるようになります。

事業費：3,928 千円 （財源内訳：一般財源 3,928 千円）

10月から

マイナンバーカードを利用して  
住民票、印鑑登録証明書などがコンビニから  
交付できるようになります。



※ 住所・本籍などが蒲郡市内にある方が対象です。

導入予定日：令和3年10月から

対象者：市内に住所・本籍などがある方。

対象証明書：住民票、印鑑登録証明書、戸籍・戸籍の附票（本籍が蒲郡市内の方のみ）、所得・住民税決定証明書

対象店舗：全国のコンビニエンスストア、コピー複合機の設置があるスーパー等。

その他：コンビニ交付の開始に伴い、市役所、公民館に設置してある自動交付機は段階的に縮小していきます。

問い合わせ先

市民福祉部市民課 システム担当

電話：0533-66-1109 メール：shimin@city.gamagori.lg.jp

効率的な行財政運営

# スマート市役所改革により 市民サービス向上を図ります



デジタル技術を活用し、市民の皆さんの利便性向上を図ります。

事業費：84,683 千円（財源内訳：一般財源 84,683 千円）

行かない、書かない、待たない、便利な市役所を目指します。



## おくやみ窓口システム

おくやみ窓口システムでは、ご遺族の負担を軽減するため、死亡者の情報を関係課で確認後、必要な手続きをご遺族にご案内することにより、書かない窓口、待たない窓口を目指します。

## スマート市役所改革

窓口サービスを中心とする市役所の業務改革を進めます。オンライン申請の拡充やペーパーレス化といったデジタル技術の活用による業務改革を推進し、行政手続における市民の利便性向上と業務の効率化を図ります。

## デジタル化の推進

行政文書のデジタル化を推進し、スマート市役所の基盤整備を行います。デジタル化により行政手続における処理時間の短縮を図り、削減できた時間を窓口サービスや政策的業務に振り向けることで市民サービスの向上を図ります。

### 問い合わせ先

企画部企画政策課（スマート市役所改革） 電話：0533-66-1162  
総務部行政課（デジタル化の推進） 電話：0533-66-1183  
市民福祉部市民課（おくやみ窓口システム） 電話：0533-66-1110

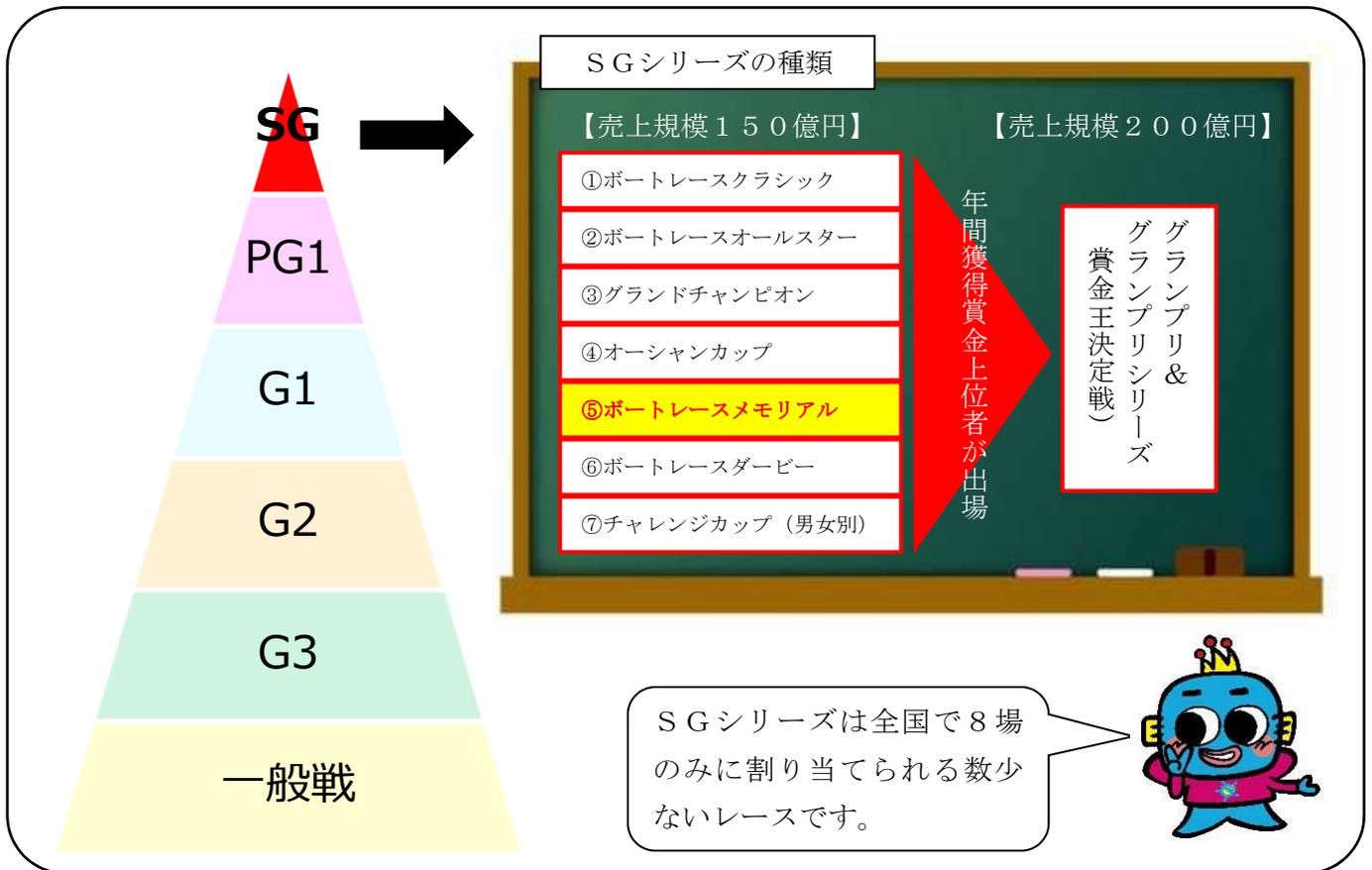
モーターボート競走事業

# SGボートレースメモリアルを 開催します



6年ぶり8回目の開催(昭和30年(1955年)から続く歴史と伝統のある戦い)

発売収入：18,540,000 千円



開催日：令和3年8月24日(火)から8月29日(日)までの6日間

出場選手：前年度のボートレースメモリアル優勝者、ボートレースグランプリ優勝戦出場者6名、直前のオーシャンカップ優勝者、蒲郡以外の競走場が推薦した選手2名ずつ、蒲郡が希望した選手

優勝賞金：3,900万円

来場者数：30,000人超(予定) ※コロナ感染症対策により入場規制も想定されます



問い合わせ先

ボートレース事業部経営企画課 経理担当

電話：0533-67-6606 メール：kyotei@city.gamagori.lg.jp

モーターボート競走事業

# 外向発売所指定席（南ウイング） をリニューアルします



老朽化に伴いお客様がより快適に利用できるよう施設をリニューアルします。

**事業費：368,300 千円（財源内訳：一般財源 368,300 千円）**

南ウイングは、昭和63年に外向前売発売所として開設され、2回の増築を行った建物を平成24年5月に指定席タイプの外向発売所として改修しました。

今まで多くのボートレースファンの方に利用していただきましたが、指定席としての広さや設置されているモニターなど、施設として古いものになっています。そこで、お客様のニーズに合わせ、より快適に利用していただける施設にするため、キャッシュレス専用の有料指定席及び利便性向上のため飲食店舗を設置し、リニューアルします。

< 外 観 >



< 指定席エリア >



指定席を一般指定席、プレミアム席、ロイヤル席と3つのグレードとし、お客様に快適な利用スペースを提供します。

**工 期**：令和3年5月から令和4年5月末まで（予定）… 新施設の建築は令和4年3月中旬まで

**開業予定**：令和4年3月中旬（予定）

**総工事費**：447,100 千円（令和3年度：368,300 千円、令和4年度 78,800 千円（債務負担行為））

**予 定 地**：同敷地内

**建築内容**：ロイヤルブース3席、プレミアムブース17席、一般指定席50席、飲食店舗の設置

※建築期間中は休業せずに、新施設を建築し営業開始後、既存施設の解体を行います。

問い合わせ先

ボートレース事業部経営企画課 設備担当

電話：0533-67-6606 メール：kyotei@city.gamagori.lg.jp

モーターボート競走事業

# ボートパーク基本計画を 策定します



現在の手狭なキッズコートを拡張し、未利用地の有効活用計画をします。

事業費：8,300 千円（財源内訳：一般財源 8,300 千円）

イメージ図



明るくクリーンなボートレース場を目指して、家族で楽しめるアミューズメント施設としての整備を行い、周辺地域との調和とボートレース場のイメージアップとファンサービスの向上に努めるため計画します。

計画期間：令和3年5月から令和4年3月まで（予定）

計画内容：ボートパーク（計画場所、施設規模・内容等）の基本構想を計画します。

総工事費：未定

※今回の事業費は計画のみの費用となります。

問い合わせ先

ボートレース事業部経営企画課 庶務・設備担当  
電話：0533-67-6606 メール：kyotei@city.gamagori.lg.jp